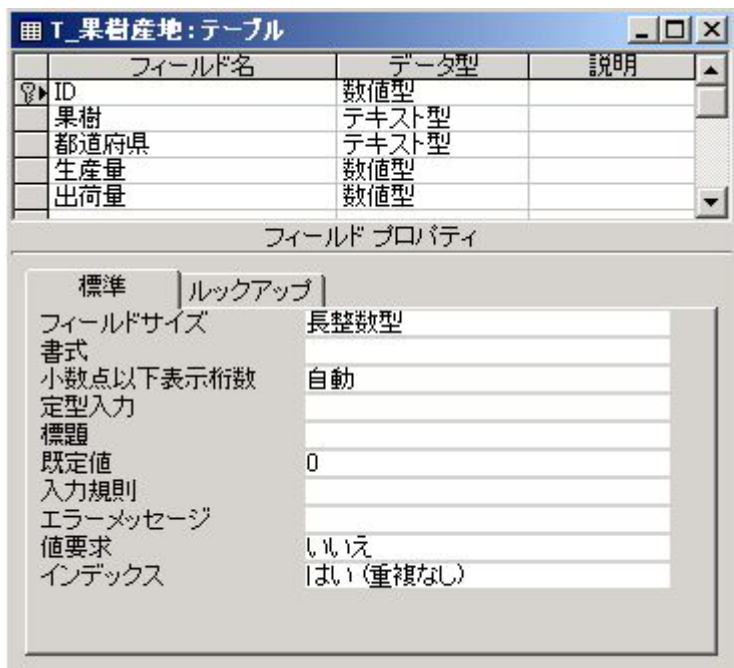


オートナンバーを使わずに番号を自動的に振る - DMax 関数

テーブルのデータ型を「オートナンバー型」にした時、新規に追加をするときは連続で番号が振られていきますが、「オートナンバー型」を使わずに番号を自動的に振る方法を考えます。わざわざ、この方法を使う理由は...?



テーブル「T_果樹産地」は次のような構造になっています。



フォームに「レコード追加」ボタンを作成します。
「ツールボックス」から「コマンドボタン」を選び、ボタンを作成したい位置へカーソルを移動させます。



コマンドボタンのアイコン



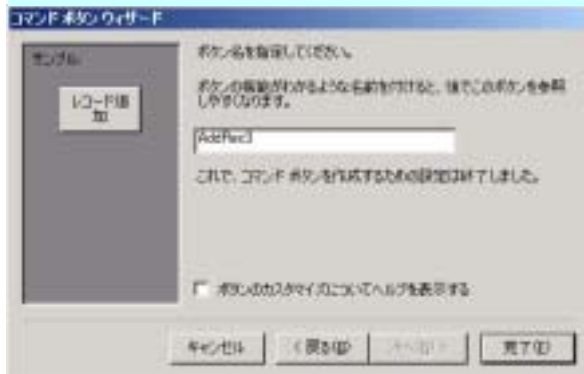
コマンドボタンウィザード 1



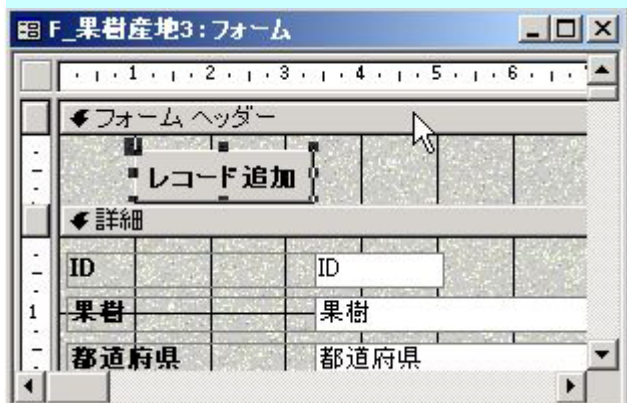
コマンドボタンウィザード 2



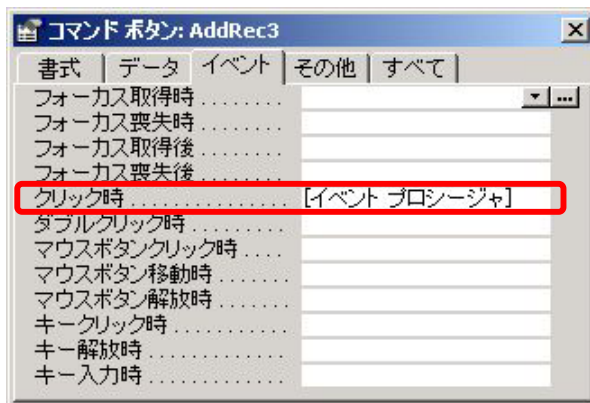
コマンドボタンウィザード 3



「レコード追加」ボタンの作成完了



「レコード追加」ボタンのプロパティを開く



オートナンバーを使わずに番号を自動的に振る
作成者:Komazawa SystemKOMACO

Microsoft Visual Basic(VBA)で次の 1 行を追加します。

```
Private Sub AddRec_Click()  
On Error GoTo Err_AddRec_Click  
  
DoCmd.GoToRecord , , acNewRec  
  
Me!ID = DMax("ID", "T_果樹産地") + 1  
  
Exit_AddRec_Click:  
Exit Sub  
  
Err_AddRec_Click:  
MsgBox Err.Description  
Resume Exit_AddRec_Click  
  
End Sub
```

他のプロシージャ(記述されたところ)は、コマンドボタンを作成したときに自動的に作成されたものです。

「[図 1](#)」のように、「ID」の最大値に 1 を加算する処理を行わせています。

DMax 関数: DMax(フィールド名, テーブル名, 条件式) と記述します。

ここでは、「ID」がフィールド名、「T_果樹産地」がテーブル名、「+1」が条件式になります。

DMax 関数を使うメリットは？ ([オートナンバー型フィールドを見直してみよう](#))

フィールド名	データ型	説明
ID	テキスト型	
果樹	テキスト型	
都道府県	テキスト型	
生産量	数値型	
出荷量	数値型	

テキスト型も ID に使用可能

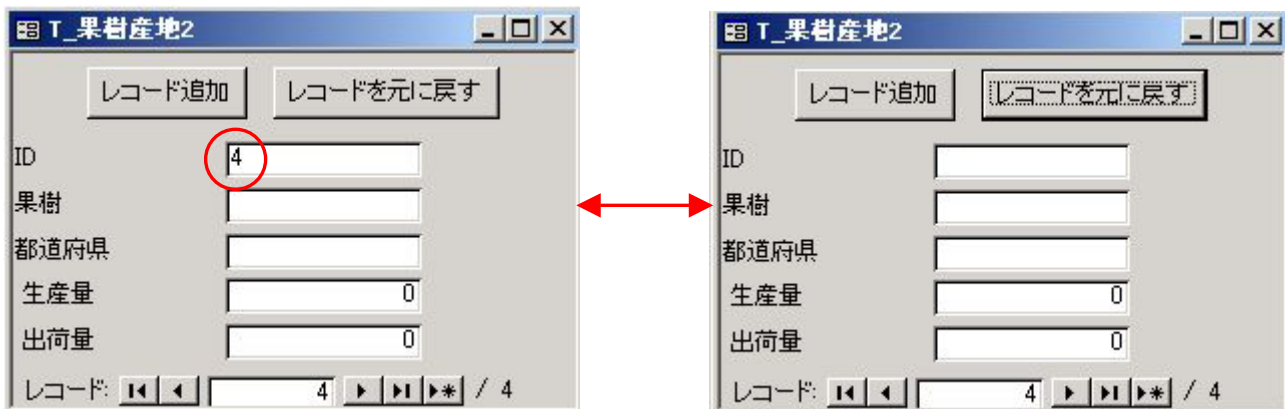
標準	ロックアップ
フィールドサイズ	50
書式	
IME 入力モード	オン
IME 変換モード	一般
ふりがな	
住所入力支援	
定型入力	
標題	
既定値	
入力規則	
エラーメッセージ	
値要求	いいえ

レコード追加	レコードを元に戻す
ID	1
果樹	りんご
都道府県	青森県
生産量	488100
出荷量	432700

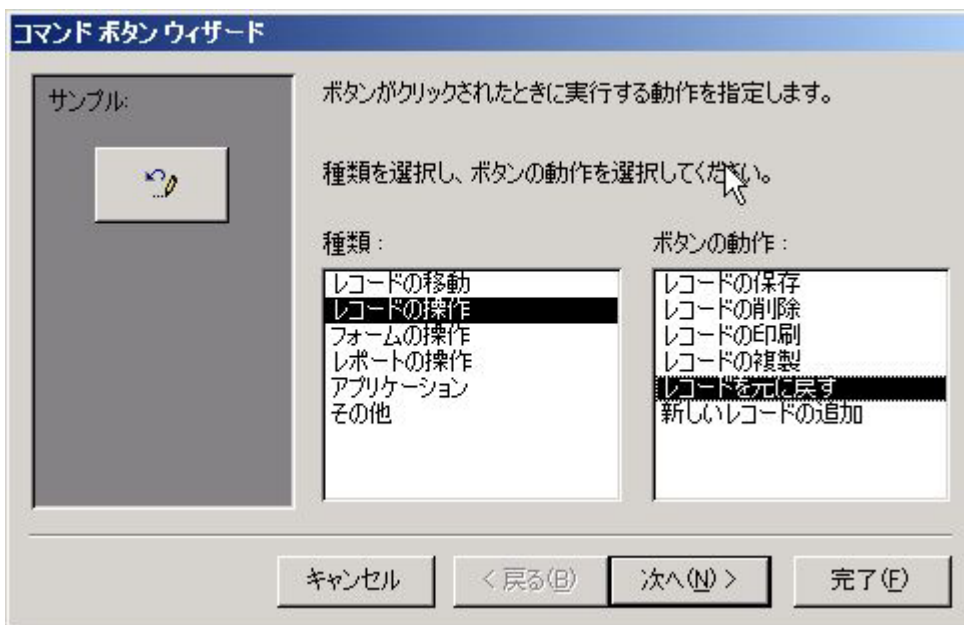
レコード: 1 / 3

オートナンバーを使わずに番号を自動的に振る
作成者:Komazawa SystemKOMACO

「レコード追加」ボタンを左クリックすると、レコードが**テキストデータ**として追加された。
「レコードを元に戻す」ボタンを左クリックすると、ID が削除された。更に、「レコード追加」ボタンを左クリックするとID に「4」が表示される。



「レコードを元に戻す」ボタンの作り方は、「ツールボックス」-「コマンドボタン」を選び2ページのように行います。
「レコードの操作」-「レコードを元に戻す」を選び、ウィザードにそってボタンを作成します。
「レコードを元に戻す」ボタンは、直前の操作にのみ有効です。



「レコードを元に戻す」ボタンのプロシージャは次のように自動生成されます。

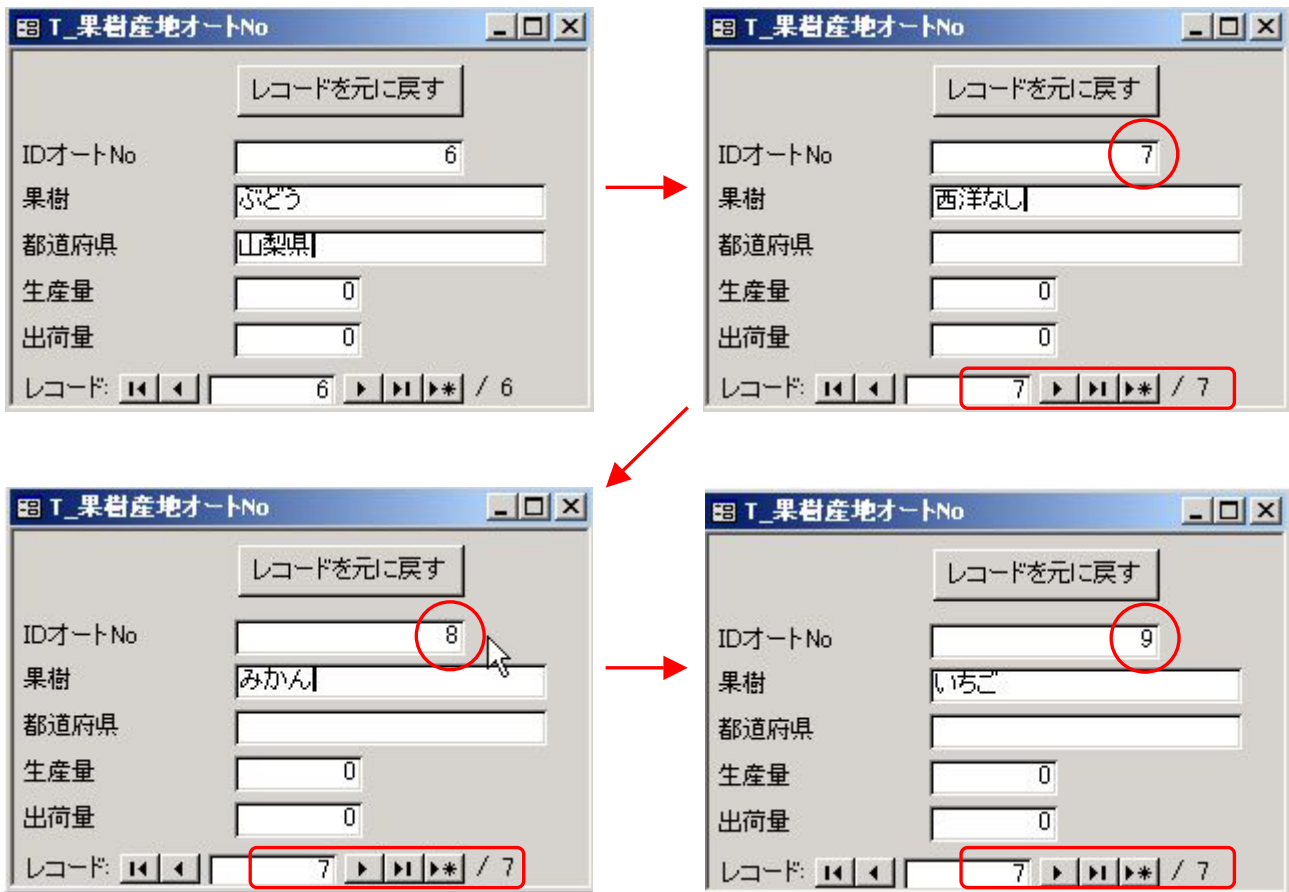
```
Private Sub ResetRec_Click()  
On Error GoTo Err_ResetRec_Click  
  
DoCmd.DoMenuItem acFormBar, acEditMenu, acUndo, , acMenuVer70  
Exit_ResetRec_Click:  
Exit Sub  
Err_ResetRec_Click:  
MsgBox Err.Description  
Resume Exit_ResetRec_Click  
End Sub
```


オートナンバーを使わずに番号を自動的に振る
作成者: Komazawa SystemKOMACO

Undo メソッド

コントロールまたはフォームの値が変更された場合に、[コントロール](#)または[フォーム](#)をクリアします。たとえば、Undo メソッドを使用して、無効なエントリを含むレコードの変更をクリアすることができます。(from Access Help)

オートナンバー型使用時の「レコードを元に戻す」処理



オートナンバー型を使用した場合には、レコードの削除や元に戻す処理を行った場合に、次のレコードの追加は加算されたナンバーが自動作成される。